

## 国家試験業務の業務・システムの見直し方針

### 1. 対象範囲

本見直し方針策定作業においては、政府が直接実施し、かつ業務の一部を情報システム化している11府省庁、32の国家試験(資格試験、採用試験を含む)を対象とした。

### 2. 最適化の基本理念

国家試験業務の業務・システムにおいては、次の事項を基本理念として業務及びシステムの最適化を図る。

国民への行政サービスの向上のため、使いやすい高度な各種試験サービスの提供を図る。

試験の透明性や評価の信頼向上等により、国民への説明責務の履行と情報提供を図る。

複数府省による共同アウトソーシング化により、業務効率の向上を図る。

情報システムの共通化を図り、政府全体として効率的なシステムの投資及び運用を図る。

情報システムの安全性・信頼性の確保と個人情報保護に留意する。

可能な限り多くの国家試験への適用を図る。

### 3. 国家試験業務・システムの課題

受験者及び業務実施側双方にとって利便性の高い願書の電子申請化が進んでいない。

願書受付の際の受験資格審査において添付書類を必要とする試験では、その確認のための作業負担が高くなっている。また、個別試験ごとに現在外部委託化されている業務・システムの共通化を図るとともに、一層の電子化及びアウトソーシング化を検討する必要がある。

情報システムに対する多重投資が行われることを防ぐために、汎用的な情報システムの構築を検討することが必要である。

### 4. 国家試験業務・システムの見直し方針

#### (1) 国民(受験者、合格者等)本位の利便性の高い情報サービスの実現

受験者が、国家試験を受験するために必要な情報を迅速かつ的確に入手できるようにするため、募集・受験要項・案内について、府省共通ポータルから、入手できるようにする。

#### (2) 業務の簡素化・合理化

願書申請に必要な添付書類については、制度改正の検討も含め、極力添付書類を減少させるように努めるとともに、電子化により書類の参照時間を短縮し、業務効率化を図る。

#### (3) 業務のアウトソーシング化

国家試験業務全体の効率化を図るために、定型的な業務や作業負担の高い業務等について共通化を検討するとともに、さらなるアウトソーシング化を図る。

#### (4) 業務・システムの共通化

国家試験に係る情報システムの構築については、最適化計画において費用対効果を明らかにした上で検討する。構築された情報システムが柔軟かつ汎用的で可能な限り多くの国家試験で利用されるものとなるように検討する。同時に、情報システムに対する多重投資を防ぐために、国家試験業務全体に係る汎用的かつ総合的な情報システム構築の検討を行う。

#### (5) 安全性・信頼性の確保

### 5. 最適化計画の策定

本見直し方針および「業務・システム最適化計画策定指針(ガイドライン)第4版」に沿って、平成18年3月末までに国家試験業務の業務・システム最適化計画を策定する。